

「今年の冬は、比較的暖かいね！」という声が聞こえてきますが、それでも寒い日があって、体調を壊している人もいますようです。教室に入ればエアコンが効いていて暖かいのですが、外は冷たい風が吹いています。インフルエンザも流行の兆しがあります、手洗い、うがいなどで、予防を！

3学期も始まり、早速、課題考査がありました。冬休み中にしっかりと学び直しができたでしょうか？3学期は、工業、商業など様々な検定試験が毎週のようにあります。ここは、しっかりと体調管理をして、合格しましょう！

今回は、屋久島（やくしま）について、書きます。

屋久島は、鹿児島県の大隅半島南南西約60kmの海上に位置する島で、樹齢1000年を超える杉があることでも有名です。豊かで美しい自然が残されていて、ユネスコの世界遺産に登録されています。

どうして屋久島の杉は長寿なのか。

一つには、花崗岩（かこうがん）の上で育つという苛酷（かこく）な厳しい条件があるからだそうです。ふわふわの豊かな腐葉土（ふようど）のうえに植えられたら成長は早いのですが、岩のうえにぐっと根をはっていくために、とにかく成長が遅いのです。その分、強さが秘められて、寿命が長くなるそうです。

また、岩のうえに根を張るので、十分な栄養を摂取できずに、油分を貯えながら、粗食（そしょく）にたえています。「厳しい環境と粗食」が長寿の秘訣なのです。

君たちも、グッと根の張った力強い人間になろうではないか！